GPS 搭載 LED 表示レーダー探知機　　　　　　　　取扱説明書

MOTO GPS RADAR

この度は MOTO GPS RADAR をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを 2 秒程度長めに押すことを示しています。
	GPS を受信している場合に対応する内容を説明しています。
	LED の点滅を示しています。
	LED の点灯を示しています。

この商品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう

目次

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の 2 つに区分して説明しています。

⚠ 警告　**警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。**

⚠ 注意　**注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。**

⚠ 警告
●本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
●運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
●本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
●USB シガープラグコードは、必ず付属の物を車両シガーソケットに差込んで使用してください。切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障や火災の原因となります。
●本製品をオートバイに取付ける際は、ハンドル操作の妨げにならないように取付けてください。
●オートバイのハンドルストッパー等にケーブル類を挟み込まないように配線してください。

⚠ 注意
●本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。（ただし、内蔵バッテリー、面ファスナー等の消耗品は保証の対象となりません）
●本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

ご使用上の注意

⚠ 注意

●GPS 衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS による警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）
●車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）していると、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し、GPS 受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。
●本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
●本製品は IPX6 相当の防水設計となっていますが、激しい雨や洗車時には本体を取外してください。
※ イヤホンジャックおよび USB コネクターのカバーを閉じた状態での防水設計になります。雨天走行時等では必ずカバーを閉じた状態で使用してください。
●ヘルメットスピーカーまたはワイヤレスヘッドセット等を使用し、ヘルメット内で直接音声を聞く場合、音量が大きすぎると、周囲の音が聞こえず状況判断の妨げになる可能性があります。周囲の音が十分に聞こえる音量でご使用ください。
●電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合等、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。
●本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービスや取締ポイント等の GPS データ（位置情報）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
●一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。
●取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがありますが誤動作ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
●一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波等の電波を受信できない場合があります。
●部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
●環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
●本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
●本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
●本製品は DC12V 車専用です。（DC6V/24V 車へのお取付けはできません）
●キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の場合、車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ず USB シガープラグコードを抜いてください。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います

● 衛星受信開始時間／受信復帰時間

レーダー本体の電源 ON から衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的に GPS 衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信するまでの時間。

（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。）

受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10 秒以下	2 秒程度
10 秒〜 60 秒	5 秒程度
60 秒以上	10 秒以上

受信復帰時間

前回、電源 OFF してからの時間	衛星受信迄の時間
〜 5 時間	〜 10 秒程度
〜数日間	〜 1 分程度
ご購入後または、1ヶ月程度以上	〜 5 分程度

※ 参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

● 衛星データ

本製品は GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）している時やナビゲーション本体、地デジチューナーおよび衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

ご使用上の注意

● **本製品の使用周波数について**

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるかまたは機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きた時には、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先：株式会社デイトナ　フリーダイヤル：0120-60-4955

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

● **本製品の防水性能について**

本製品は防水性能を備えています。下記の点にご注意いただき、ご使用ください。

・本製品は JIS 保護等級 IPX6 相当（弊社試験方法による）の防水性能があります。
　※本製品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。

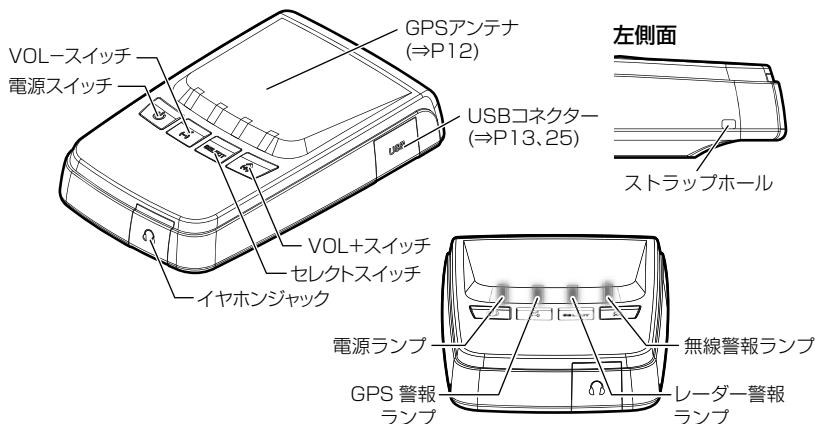
・付属品は防水仕様ではありません。

・イヤホンジャックカバー、USB コネクターカバーにホコリやゴミ等の異物を挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水し、故障の原因となります。

・雨天時や濡れた手でイヤホンジャックカバー、USB コネクターカバーの開け閉めを行わないでください。浸水し、故障の原因となります。

・イヤホンジャックカバー、USB コネクターカバーはゴム製のため劣化します。防水性能を維持するために数年に一度交換することをおすすめします。（有償）

各部の名称

レーダー本体

アドバイス

雨天走行時等の注意点
イヤホンジャックおよび USB コネクターのカバーは必ず閉じて使用してください。

LED 表示内容

●待機時

電源ランプ	各種設定変更時		青点滅
	GPS 衛星	未受信	消灯
		受信	青点灯（バッテリー駆動時点滅）
GPS 警報ランプ	ロードセレクト	シティーモード	緑点灯（バッテリー駆動時点滅）
		ハイウェイモード	赤点灯（バッテリー駆動時点滅）
		オールモード	橙点灯（バッテリー駆動時点滅）
		オートモード	モードに応じた色で点灯 （バッテリー駆動時点滅）
レーダー警報ランプ	消灯（設定変更時は各設定内容により、点灯・点滅）		
無線警報ランプ			

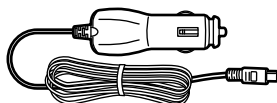
●警報時

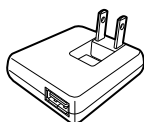
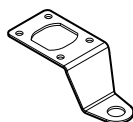
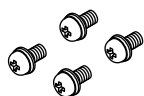
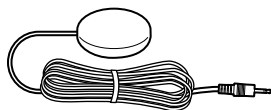
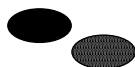
電源ランプ	警報ミュート時またはキャンセル時は青点滅	
GPS 警報ランプ	GPS 警報時のみ	点滅（距離や警報の種類により色は異なる）
レーダー警報ランプ	レーダー警報時のみ	赤点滅
無線警報ランプ	無線警報時のみ	点滅（警報の種類により色は異なる）

本体スイッチ操作一覧

項目	スイッチ操作				備考
	電源スイッチ	VOL －スイッチ	セレクトスイッチ	VOL ＋スイッチ	
電源 ON（⇒ P16）	長押し	—	—	—	—
OFF（⇒ P17）					
音量アップ（⇒ P18）	—	—	—	短押し	—
ダウン（⇒ P18）	—	短押し	—	—	—
テスト機能（⇒ P18）	—	長押し	—	長押し	待機中に同時長押し
ミュート機能（⇒ P20）	—	—	短押し	—	警報中のみ
バッテリーチェック機能（⇒ P17）	—	—	短押し	短押し	待機中に同時押し ※内蔵バッテリー使用時のみ
走行エリアの設定（⇒ P24）	—	—	短押し	—	待機中
ユーザーポイントの登録（⇒ P19）	—	長押し	—	—	待機中
解除（⇒ P19）					ユーザーポイント警報中に操作
誤警報地点の登録（⇒ P21）	—	—	—	長押し	レーダー警報中に操作
解除（⇒ P21）					キャンセルミュート中に操作
オービスポイントのキャンセル登録（⇒ P22）	—	—	—	長押し	オービス警報中に操作
キャンセル解除（⇒ P22）					キャンセルミュート中に操作
無線警報のキャンセル登録（⇒ P23）	—	—	—	長押し	無線警報中に操作 ※解除はオールリセットを行う
GPS 設定モードに入る（⇒ P33）	—	—	長押し	—	待機中
GPS 設定の内容を変更する（⇒ P33）	—	—	短押し	—	GPS 設定モード中
無線設定モードに入る（⇒ P48）	—	—	—	長押し	待機中
無線設定の内容を変更する（⇒ P48）	—	—	—	短押し	無線設定モード中
アラーム設定（⇒ P31）	—	短押し	—	短押し	待機中に同時押し
データ更新（⇒ P26,28）	—	長押し	長押し	長押し	待機中に同時長押し ※ USB ケーブル接続時のみ
ディスプレイモードの設定（⇒ P62）	—	—	●	—	オープニング中に長押し
解除（⇒ P62）					ディスプレイモード中に長押し
オールリセット（⇒ P61）	—	●	—	●	オープニング中に同時長押し
誤操作防止機能の設定（⇒ P31）	—	短押し	短押し	—	同時押し
解除（⇒ P31）					
ペアリングモードに入る（⇒ P32）	—	—	長押し	長押し	待機中に同時長押し
ペアリングした機器の接続を解除する（⇒ P32）	—	—	**5 秒長押し**	**5 秒長押し**	**同時に 5 秒長押し**

梱包内容

USB シガープラグコード（1 本）
（約 4m）

USB ケーブル（1 本）
（約 60cm）

USB/AC アダプタ（1 個）

バイク用ステー（1 個）

バイク用ステー固定ネジ（4 本）

ヘルメットスピーカー（1 個）
（1.2m）

ヘルメットスピーカー
固定用面ファスナー（1 セット）

面ファスナー（1 セット）

※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

⚠ 注意
レーダー本体と PC の USB 接続は必ず、GPS データ更新（⇒ P25）の際に行ってください。 【USB Virtual Driver】のセットアップが終わる前に接続すると、レーダー本体を PC が認識できず、正常にデータ更新ができない場合があります。

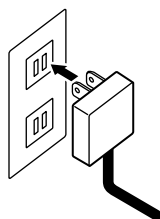
ご使用の前に

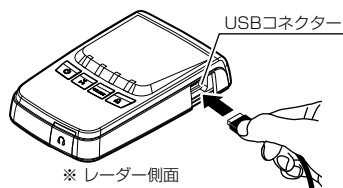
ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

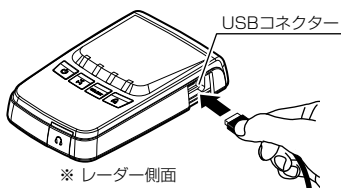
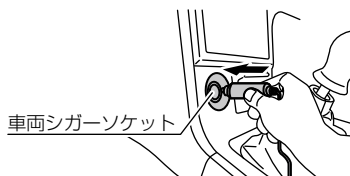
※ USB シガープラグコードを接続した状態で使用する場合はそのままご使用ください。

- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電のみされており、長時間充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時や内蔵バッテリーが消耗した時は、必ず付属の USB/AC アダプタと USB ケーブルで家庭用（100V）コンセントから充電するか、付属の USB シガープラグコードを車両に接続し、エンジンをかけて 4 時間以上充電してください。（充電は断続的に行うことも可能ですが､その場合は目安として 8 時間以上充電してください）
- 本製品は満充電の状態で約 5 ～ 8 時間の使用が可能です。（※使用状況により異なります）
- 本製品に充電状態や充電完了の案内を表示する機能はありません。8 時間以上充電することで満充電になります。
- 本製品に内蔵しているバッテリーは長期間使用しないと自然放電します。バッテリーを長持ちさせるために 3 ヶ月に 1 度､補充電を行なってください。
- 本製品に搭載している GPS 受信機能は、従来のレーダー探知機に比べ、より多くの電力を必要とし、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。
- 本製品は防水設計されているため、お客様での内蔵バッテリーの交換はできません。交換する際は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

家庭用電源で充電する

1. 付属の USB/AC アダプタに USB ケーブルを接続し、家庭用コンセント（AC100V）に USB/AC アダプタのプラグを差込みます。

2. USB ケーブルをレーダー本体の USB コネクターに差込み、充電を行ってください。

※ USB ケーブルを差込むと電源が ON になります。電源スイッチを長押しして、電源を OFF にした状態で充電を行ってください。

車両で充電する

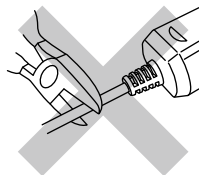
1. レーダー本体の USB コネクターに付属の USB シガープラグコードを差込みます

2. 車両シガーソケットに付属の USB シガープラグコードを差込みます

3. 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください

アドバイス

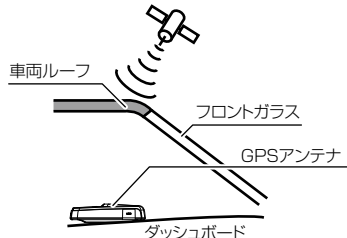
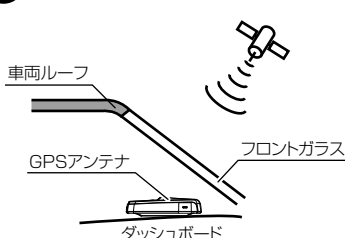
内蔵バッテリー電圧が極端に低下した場合は、レーダー本体の電源を OFF にした状態で充電を行ってください。

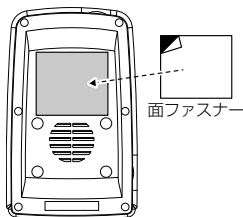
⚠ 注意
車両の電圧が 24V または 6V の場合は使用できません。必ず 12V であることを確認してから接続してください。

⚠ 警告

- **USB シガープラグコードは、必ず付属の物を車両シガーソケットに差込んで使用してください。切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障したり、火災の原因となります。**
- **他の製品を接続しないでください。故障の原因となる恐れがあります。**

取付け方法

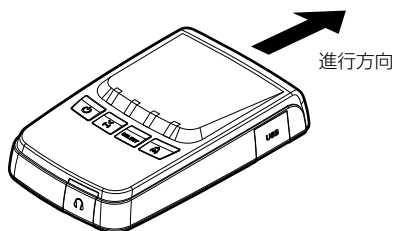
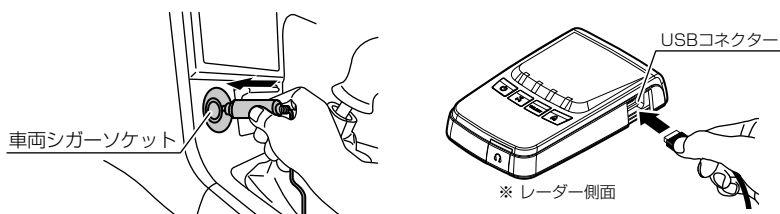
車両に取付ける

- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
- レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

1）レーダー本体裏面とダッシュボードに面ファスナーを貼付けます

※面ファスナーの不要な部分はカットしてご使用ください。

アドバイス

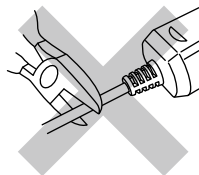
・濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから面ファスナーを貼付けます。
・レーダー本体ができるだけ地面と平行になるような場所へ取付けを行うと、より感度が良くなります。

⚠ 警告
エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

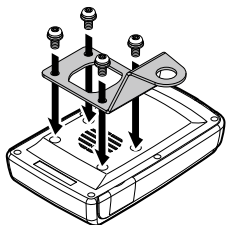
2）レーダー本体後部が、車両の進行方向に向くように固定します

3）付属の USB シガープラグコードを車両シガーソケットとレーダー本体の USB コネクターに接続します

アドバイス

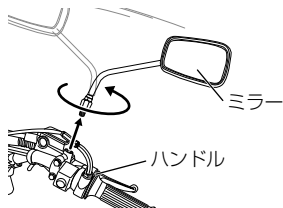
一部の外車など、エンジンを停止してもシガーソケットに 12V 電圧がある車は、車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ず USB シガープラグコードを抜いてください。

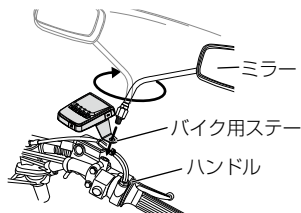
⚠ 警告

- **USB シガープラグコードは、必ず付属の物を車両シガーソケットに差込んで使用してください。切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障したり、火災の原因となります。**
- **他の製品を接続しないでください。故障の原因となる恐れがあります。**

取付け方法

バイクに取付ける

1）レーダー本体裏面にバイク用ステーを取付けます。

2）バイクのミラーを取外します。

※一部の車両では、ミラー取付けネジが逆ネジになっています。ネジの回転方向にご注意ください。

3）バイク用ステーをミラーでハンドルに固定します。

※レーダー本体後部が、車両の進行方向を向くように固定してください。

4）シガーソケットを装備している車両はUSBシガープラグコードを接続して使用してください。シガーソケットが無い場合、内蔵バッテリーで使用してください。

アドバイス

雨天走行時等の注意点
イヤホンジャックおよびUSBコネクターのカバーは必ず閉じて使用してください。

⚠ 注意
車種によっては付属のステーが使用できない場合があります。車体へ面ファスナー等で貼付ける等工夫して取付けてください。また落下防止のため、市販のストラップ等で落下防止を行う事をおすすめします。

ヘルメットスピーカーを使用する

付属のヘルメットスピーカーを使用することで、ヘルメットを被ったままでも本製品の音声を聴くことができます。

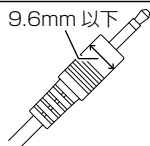
1）ヘルメットの保護パットを取外し、ヘルメットスピーカーがヘルメットをかぶった時に耳の位置にくるように、付属の面ファスナーで固定します。

アドバイス

内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組込むことで、より違和感が少なくなる場合があります。

2）レーダー本体前面のカバーを外し、イヤホンジャックにヘルメットスピーカーのプラグを接続します。

⚠ 注意

ケーブルが短い場合、市販のモノラル延長ケーブル等をお買い求めください。
※その際、モノラルプラグ最外径が 9.6mm 以下の物をご使用ください。

レーダー本体をポケットに入れて使用する

本製品はバッテリーを内蔵しているため、ポケット等に入れて使用することができます。

⚠ 注意

- **服の装飾品やプロテクターの材質、種類等により GPS やレーダー波、無線の受信感度が低下する場合があります。またワイヤレスヘッドセットの送受信距離が短くなる場合があります。**
- **車両に乗って使用する場合、ポケットにレーダー本体を入れていると車両ルーフに遮られ、GPS が受信できない場合があります。**

基本操作

電源を入れる

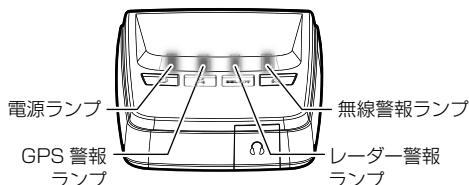
1. キーを ON まで回しエンジンを始動する（USB シガープラグコード接続時）か、電源スイッチを**長押し**する。

・左から順に LED が点灯します。

アドバイス

一部の外車など、エンジンを停止してもシガーソケットに 12V 電圧がある車は、車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ず USB シガープラグコードを抜いてください。

2. 現在の設定内容が LED の点滅で表示される。

・設定内容の表示が終わったあとは、GPS 衛星の受信状態とロード MUTE の表示のみ行います。

電源ランプ	青点灯（その後、GPS 衛星を受信するまで消灯） ※ヘッドセットの登録（⇒ P32）がある場合は青点滅	
GPS 警報ランプ	GPS 設定（⇒ P33）内容を表示 （GPS 設定内容表示後はロードセレクトを表示）	各設定の色で 3 回点滅する
レーダー警報ランプ	アラーム音設定（⇒ P31）内容を表示	
無線警報ランプ	無線設定（⇒ P48）内容を表示	

3. GPS 衛星の受信アナウンスと電源ランプ表示を確認する。

数秒～数分かかる場合があります

受信アナウンス	電源ランプ表示
「ピンポン♪ 衛星を受信しました。」	点灯（バッテリー駆動時点滅）

GPS 衛星の受信ができないときは

「チャラランﾝ♪ 衛星を受信できません。」とアナウンスされ、電源ランプが消灯している場合は、GPS 衛星を正確に受信できていません。

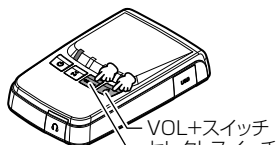
電源を切る

キーを OFF にする（USB シガープラグコード接続時）か、【電源スイッチ】を**長押し**することで電源を切る事ができます。

※ ペアリング中とデータ更新中は、キーを OFF にしたり、USB ケーブルを抜いて電源を切らないでください。また、【電源スイッチ】の操作は無効になります。

内蔵バッテリーの状態をチェックする

【セレクトスイッチ】と【VOL+ スイッチ】を同時押しすると、内蔵バッテリーの残量がアナウンスされます。

※ 内蔵バッテリーでの使用時のみ作動します。

アナウンス	内容	内蔵バッテリー状態
チャラーン♪バッテリーは十分です	全ての受信機能は作動します。	充電良好です。
チャラーン♪バッテリーは 60%です		
チャラーン♪バッテリーは 40%です	バッテリー残量によって GPS 機能のみを停止、または全受信機能を停止します。	充電をお薦めします。
チャララン♪バッテリーは 20%です		充電が必要です。

• 内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、アナウンスでお知らせします。

アナウンス	機能	内蔵バッテリー状態
バッテリーチェック GPS 機能を停止します	GPS 受信機能を停止	充電 40%以下
バッテリーチェック 充電を行ってください	全受信機能を停止	充電 20%以下

基本操作

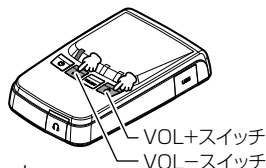
音量を調整する

・LED 表示を確認しながら、7 段階の音量調整ができます。

・待機中に【VOL −スイッチ】を押すことで音量が下がり、【VOL +スイッチ】を押すことで音量が上がります。

・お買い上げ時は、音量は【4】に設定されています。

・本体スピーカーとイヤホンジャックの音量は連動して変化します。

・ワイヤレスヘッドセット接続時の音量調整は、ヘッドセット側で行ってください。

音量	0（消音）	1、2	3、4	5、6
LED 表示				

テスト機能を使用する

・本製品がどのような音量で警報するかを確認できる機能です。

・待機中に【VOL −スイッチ】【VOL +スイッチ】を**同時長押しする**と、レーダー本体から警報時のテスト音が鳴ります。

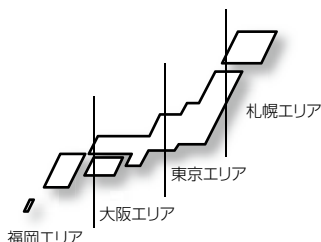
オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報(200m 以下)してから約 10 秒後、また、レーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音のボリュームに戻ります。

※ワイヤレスヘッドセット接続時は、オートボリュームダウン機能は作動しません。

オートディマー機能

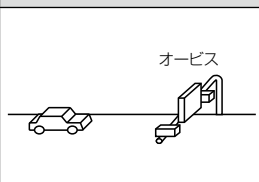
・本製品は時刻によって、LED の明るさを自動的に調整するオートディマー機能を採用しています。

・各エリアを中心に時季（2 ～ 4 月 /5 ～ 7 月 /8 ～ 10 月 /11 ～ 1 月）の日の出と日の入り時刻の統計を基にオートディマー作動時刻を決めています。

ユーザーポイントを登録する

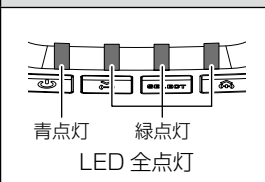
未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。
※ GPS データの更新を行っても、ユーザーポイントの登録は解除されません。

⚠ 注意
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

登録方法

①登録したい地点を走行し、GPS 警報をしていないときに

②【VOL －スイッチ】を長押しする

③「チャラーン♪ ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

青点灯　緑点灯
LED 全点灯

走行エリアを「シティーモード」または「オールモード」選択時に、ユーザーポイントを登録すると「一般道路上」に登録され、「ハイウェイモード」選択時に登録すると「高速道路上」に登録されます。

アドバイス

ユーザーポイント解除方法

登録したポイントの警報中に【VOL －スイッチ】を**長押し**すると「チャラーン♪ ユーザーポイント解除しました」とアナウンスされ、電源ランプ以外のランプが橙点灯し登録が解除されます。

ユーザーポイントの登録ができない場合

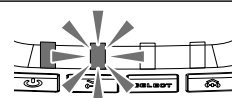
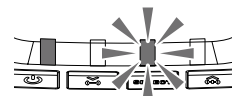
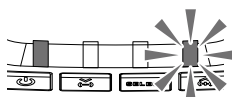
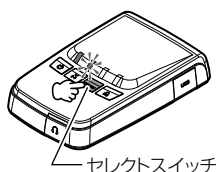
- 登録できない場合、電源ランプが消灯し、それ以外のランプが赤点滅します。
- GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ♪ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
- GPS 警報中は「ブッ」と音が鳴り、登録することができません。（レーダー警報中、無線警報中は登録できます）
- 一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「チャラララン♪ 登録できません」とアナウンスされます。
- ユーザーポイントを 100 件を超えて登録しようとした場合、「チャラララン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

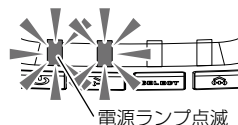
警報をキャンセルする

警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 注意
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

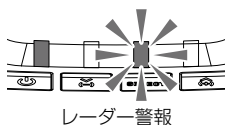
①各種警報中に

②【セレクトスイッチ】を押す

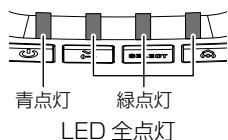
③「ピッ」とブザー音が鳴り、電源ランプが点滅します。

・ミュートしている間は、警報しません。
・ミュート中に再度【セレクトスイッチ】を押す、または待機状態に戻るとミュート状態は解除されます。
・誤警報の登録地点（⇒ P21）、オービスポイントのキャンセル地点（⇒ P22）、ASC 機能（⇒ P30）および LSC 機能（⇒ P30）作動中にも電源ランプが点滅し、ミュートされます。

誤警報地点を登録する

・自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 200m 内のレーダー警報を消音します。
・GPS データの更新を行っても、キャンセルポイントの登録は解除されません。
・最大登録件数は、50 件です。

⚠ 注意
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

①レーダー警報中に

②【VOL ＋スイッチ】を長押しする

③「チャラーン♪ レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

アドバイス

レーダーキャンセルポイント解除方法

登録地点を走行中 (ミュートマーク表示中)、【VOL ＋スイッチ】を**長押し**すると「チャラーン♪ レーダーキャンセルポイント解除しました」とアナウンスされ、電源ランプ以外のランプが橙点灯し登録が解除されます。

登録ができない場合

・登録できない場合、電源ランプが消灯し、それ以外のランプが赤点滅します。
・レーダー (ステルス含む) 受信中でも GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ♪ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
・レーダーキャンセルポイントを 50 件を超えて登録しようとした場合、「チャラン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

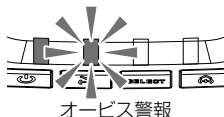
便利な機能

オービスポイントをキャンセル登録する

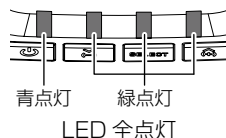
・お買い上げ時から登録してあるオービスポイントやＮシステムでGPSデータに登録されているオービスポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を1地点単位で消音します。
・GPSデータの更新を行っても、キャンセルポイントの登録は解除されません。
・最大登録件数は、30件です。
・同時にレーダー波もキャンセルされます。

⚠ 注意
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

①オービス警報中に

▶

②【VOL ＋スイッチ】を長押しする

▶

③「チャラーン♪ 警報キャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

アドバイス

警報キャンセルポイント解除方法

登録地点を走行中(ミュートマーク表示中)、【VOL ＋スイッチ】を**長押し**すると「チャラーン♪ 警報キャンセルポイント解除しました」とアナウンスされ、電源ランプ以外のランプが橙点灯し登録が解除されます。

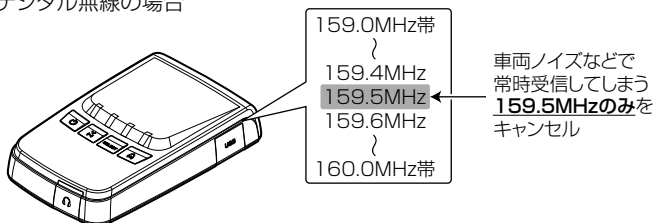
登録ができない場合

・登録できない場合、電源ランプが消灯し、それ以外のランプが赤点滅します。
・警報キャンセルポイントを30件を超えて登録しようとした場合、「チャララン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定 (登録) できません。

(例) デジタル無線の場合

※キャンセルした159.5MHz以外の159.0〜159.4MHz、159.6〜160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

・無線設定（⇒ P48）で OFF に設定されている警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

①無線警報中に	②【VOL ＋スイッチ】を長押しする	③「チャラーン パスメモリを登録しました」と鳴れば登録完了です。

アドバイス

無線キャンセル登録解除方法

レーダー本体をデータリセットすると登録を解除することができます。ただし、その他の設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。（⇒ P61）

登録ができない場合

「チャラララン♪ 登録できません」とアナウンスされ、電源ランプが消灯し、それ以外のランプが赤点滅します。

走行エリアを選ぶ（ロードセレクト）

GPS 警報を行う道路を【オールモード】【シティーモード】【ハイウェイモード】【オートモード】から選択することができます。

設定方法

・待機中に【セレクトスイッチ】を押す毎に設定が切替わります。
・下記表を参照し、走行条件に合わせた走行エリアの設定を行ってください。

シティーモード
一般道路のみ警報

▶

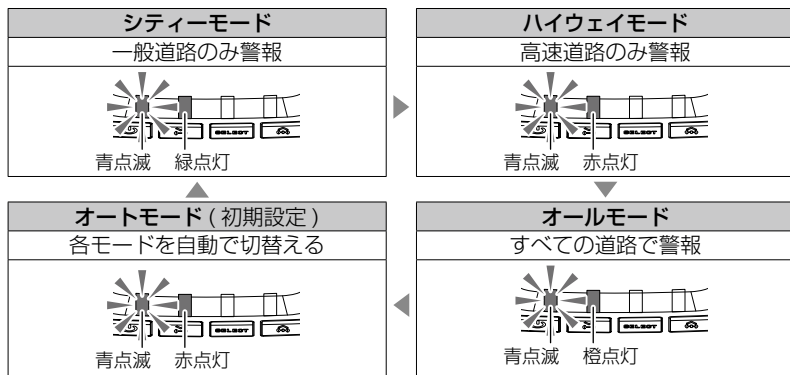
ハイウェイモード
高速道路のみ警報

▼

オールモード
すべての道路で警報

◀

オートモード (初期設定)
各モードを自動で切替える

▲

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

アドバイス

GPS 設定（⇒ P33）を変更すると設定に応じたロードセレクト設定に切替わります。GPS 設定を行なった後、ロードセレクト設定を行う事をおすすめします。

⚠ 注意

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS のデータを基に、「オールモード」、「シティモード」、「ハイウェイモード」を自動的に切替えます。そのため、下記のような場合、実際の走行道路と設定が異なり、GPS 警報を行わない事があります。
・高速道路走行中に渋滞等により低速走行をしている場合。
・高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
・一般道路と高速道路が並行している場合。

GPS データを更新する

- 本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ）は、最新バージョンへの更新が可能です。
- 今現在でも新たにオービス・N システムが増設されており、また調査箇所以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全のため、必ず法定速度内で走行してください。

⚠ 注意

レーダー本体と PC の接続は必ず、次ページ手順 4 以降にて行ってください。
【USB Virtual Driver】のセットアップが終わる前に接続すると、レーダー本体を PC が認識できず、正常にデータ更新ができない場合があります。

最新データをダウンロードする

インターネットが利用できる環境のパソコンからコムテックホームページ (http://www.e-comtec.co.jp) へアクセスして最新バージョンの GPS データをダウンロードしてください。

※ 更新作業を行うためには、USB ポートを搭載したパソコンが必要です。
※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更、中止される場合があります。

≪対応 OS ≫

- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows 7

コムテックホームページへアクセス

ダウンロードしたデータに同梱のアプリケーションを起動

アドバイス

- 上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテックサービス部までお送りください。

※お預かりでのデータ更新に関しましては**有償**となります。あらかじめご了承ください。

住所　〒 470-0206　愛知県みよし市莇生町下石田 60 番
電話　0561-36-5654
株式会社　コムテック　サービス部　データ更新係　迄

- GPS データのダウンロード、更新に関するお問い合わせのみ株式会社コムテックにて受け付けております。それ以外のお問合せに関しては、弊社までお問い合わせください。

便利な機能

レーダー本体をアップデートする

最新の GPS データをホームページからダウンロードし、レーダー本体とPC を接続することで、GPS データを更新することができます。

≪ WindowsXP / 2000 の場合≫

1. ホームページから GPS データをダウンロードする
2. ダウンロードしたデータに同梱されている【GPS データ更新アプリ】ファイルをダブルクリックする

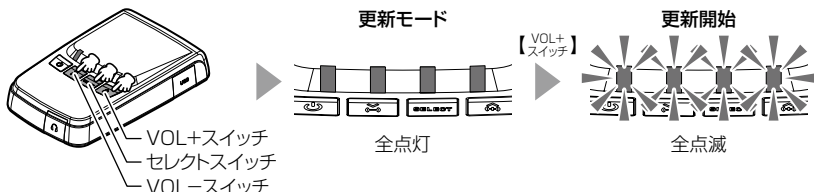
3. 【USB Virtual Driver】のセットアップが開始されるので、画面の指示に従いインストールする

4. [接続待機画面] が表示されたら、レーダー本体と PC を付属の USB ケーブルで接続する

5. レーダー本体の操作をする
   - 本体の【VOL −スイッチ】【セレクトスイッチ】【VOL ＋スイッチ】を<u>**長押し**</u>すると全ての LED が点灯する（電源ランプ：青、それ以外の LED：橙）
   - 【VOL ＋スイッチ】を押すと LED が点滅に代わり、更新が始まる
   - 更新中は LED が左から順に点灯する

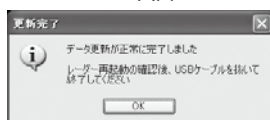
※ レーダー接続後、PC 画面に【新しいハードウェアの検出ウィザード】が表示された場合、【ソフトウェアを自動的にインストールする】を選択し、インストールを完了してください。

6. GPS データの更新が始まる

<PC画面>

<レーダー本体LED>

左から順に点灯を繰返す

7. PC に [更新完了画面] が表示され、レーダー本体の電源ランプが青点灯、それ以外の LED が緑点灯したら、【VOL +スイッチ】を押し、レーダー本体の電源を入れなおす

<PC画面>

<レーダー本体LED>

青点灯　緑点灯

8. レーダー本体が正常に起動したら、USB ケーブルを抜き、[更新完了画面] の【OK】をクリックしてください

・起動しなかった場合、[更新完了画面] の【OK】をクリックし、一旦アプリケーションを終了した後、再度更新作業を行ってください。

⚠ 注意

- **レーダー本体を PC に接続するときは USB ハブを使用しないでください。電圧が安定せず、正常にデータ更新が行えない場合があるため、必ず PC 本体の USB 端子に接続してください。またノート PC によっては、本体の USB 端子に接続しても供給する電力が小さく、正常に動作しない場合があります。**
- **データ更新中は電源を切らないでください。データが破損され起動できなくなります。データが破損して起動できなくなった場合、再度データ更新を行う事で正常に動作します。**

便利な機能

≪ WindowsVista / 7 の場合≫

1. ホームページから GPS データをダウンロードする

2. ダウンロードしたデータに同梱されている【GPS データ更新アプリ】ファイルをダブルクリックする

・[ユーザーアカウント制御画面] が表示されるので許可をクリックしてください。

3. 【USB Virtual Driver】のセットアップが開始されるので、画面の指示に従いインストールする

4. [接続待機画面] が表示されたら、レーダー本体と PC を付属の USB ケーブルで接続する

5. レーダー本体の操作をする

・本体の【VOL −スイッチ】【セレクトスイッチ】【VOL +スイッチ】を<u>**長押し**</u>すると全ての LED が点灯する（電源ランプ：青、それ以外の LED：橙）
・【VOL +スイッチ】を押すと LED が点滅に代わり、更新が始まる
・更新中は LED が左から順に点灯する

※ レーダー接続後、PC 画面に【新しいハードウェアの検出ウィザード】が表示された場合、【ソフトウェアを自動的にインストールする】を選択し、インストールを完了してください。

6. GPS データの更新が始まる

<PC画面>

<レーダー本体LED>

左から順に点灯を繰返す

7. PC に [更新完了画面] が表示され、レーダー本体の電源ランプが青点灯、それ以外の LED が緑点灯したら、【VOL ＋スイッチ】を押し、レーダー本体の電源を入れなおす

<PC画面>

<レーダー本体LED>

8. レーダー本体が正常に起動したら、USB ケーブルを抜き、[更新完了画面] の【OK】をクリックしてください

・起動しなかった場合、[更新完了画面] の【OK】をクリックし、一旦アプリケーションを終了した後、再度更新作業を行ってください。

⚠ 注意

- **レーダー本体を PC に接続するときは USB ハブを使用しないでください。電圧が安定せず、正常にデータ更新が行えない場合があるため、必ず PC 本体の USB 端子に接続してください。またノート PC によっては、本体の USB 端子に接続しても供給する電力が小さく、正常に動作しない場合があります。**
- **データ更新中は電源を切らないでください。データが破損され起動できなくなります。データが破損して起動できなくなった場合、再度データ更新を行う事で正常に動作します。**

便利な機能

ASC 機能

・ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節する機能です。
・低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報を鳴りにくくし、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。

車両状態	信号待ち、低速走行時など	走行中
受信感度	LOW	車速に応じて LOW ⇔ HI ⇔ S-HI ⇔ HYPER と受信感度が変化

機能	内容	走行速度	受信感度
ASC 機能 （オート･センシティブ･コントロール）	自車の走行速度に合わせて設定を切替える	30km/h 未満	LOW
		30km/h ～ 60km/h 未満	HI
		60km/h ～ 80km/h 未満	S-HI
		80km/h 以上	HYPER

※ GPS 衛星を受信できない場合または GPS 設定（⇒ P33）を『オールオン』に設定している場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

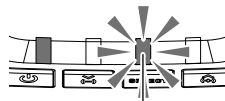
LSC 機能

LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時（GPS で算出した走行速度が 30km/h 以下の時）は、警報音を自動的にカットする機能です。

LSC 機能の動作内容

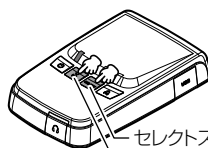
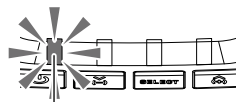
走行状態	警報
停車中～ 30km/h	しない
30km/h 以上	する
衛星を受信していない時、または GPS 設定（⇒ P33）を『オールオン』に設定している時	する

アラーム音を変更する

【VOL －スイッチ】【VOL ＋スイッチ】を同時押しすることに、警報音をブザー１／ブザー２／メロディ１／メロディ２の４種類から選択することができます。

設　定	内　容	LED 表示（レーダー警報ランプ）
ブザー 1(初期設定)	警報音をブザーで鳴らします。	緑点滅
ブザー２		赤点滅
メロディ１	警報音をメロディ音、[情熱大陸] で鳴らします。	橙点滅
メロディ２	警報音をメロディ音、クラシック [ワルキューレの騎行] で鳴らします。	３色を順に点滅

誤操作防止機能を使用する

本製品は内蔵バッテリーで作動させ、ポケット等に入れて使用する時にスイッチの誤操作を防止するため、スイッチ操作を無効にすることができます。

1. 【VOL －スイッチ】と【セレクトスイッチ】を同時押しする

2. 電源ランプが点滅し、スイッチ操作が無効になります。

アドバイス

・誤操作防止機能が作動している時に、スイッチ操作を行うと、**電源ランプ以外の** LED が緑点滅します。
・再度【VOL －スイッチ】と【セレクトスイッチ】を同時押しすることで、誤操作防止機能を解除することができます。

ワイヤレスヘッドセットと接続する

本製品は HFP プロファイルに対応した Bluetooth（ブルートゥース）搭載ヘッドセットをペアリングすることで警報等の音声を聞くことができます。

1. ヘッドセットをペアリングモードにする。

※ペアリングモードにするにはお使いのヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

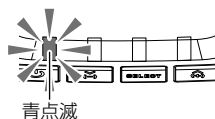
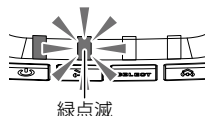
2. 本製品の【セレクトスイッチ】と【VOL ＋スイッチ】を**約 2 秒間長押し**する。

※「ピピッ♪」と音が鳴ったら離してください。

3. GPS 警報ランプが緑点滅を始め、ヘッドセットの検索を行う。（ペアリングモード）

※ペアリングモードは約 1 分で終了し、待機状態に戻ります。ヘッドセットの検索が出来なかった場合は再度ペアリング操作を行ってください。

4. 登録が完了すると、電源ランプが点滅する。

5. 一度登録すると次に本製品の電源を入れた時、登録したヘッドセットを自動で検索・接続を行います。

アドバイス

ヘッドセットの接続解除方法 (Bluetooth 接続のリセット)

ヘッドセットを接続した状態で【セレクトスイッチ】と【VOL ＋スイッチ】を**5 秒間長押し**すると、電源ランプ（青）と GPS 警報ランプ（赤）が点滅し、ヘッドセットとの接続を解除することができます。

※ 接続解除を行うと、ペアリングされた機器の情報がすべて消去されます。ヘッドセットを使用する際は、再度ペアリング操作を行なってください。（Bluetooth 接続のリセットのみで、登録したデータおよび更新した GPS データは消去されません）

ヘッドセットの接続確認方法

本製品のテスト機能（⇒ P18）を使用することで、ヘッドセットで音声を確認することができます。ディスプレイモード（⇒ P62）ではヘッドセットで音声を聞くことはできません。

⚠ 注意

- **2 台以上同時にヘッドセットを接続することはできません。また周囲にその他の Bluetooth を搭載した製品があると、正常に接続できない場合があります。**
- **ヘッドセット接続時、GPS 警報音声案内やアラーム警報音のみヘッドセットから鳴ります。それ以外の本体操作音や設定変更時の音声案内等はヘッドセットからは鳴りません。**
- **接続するヘッドセットの機種によっては正常に接続できないことや、ミュージックプレイヤー等と A2DP で接続している場合に、警報音が正常に割込みできない、音楽に戻らないという場合があります。あらかじめご了承ください。**
- **ペアリング中は電源を切らないでください。ペアリング動作が正常に終了せず、動作不良の原因となります。**
- **オービス警報は約 1km 手前よりオービスを通過するまで継続して警報を行うため、警報アナウンス後の無音の状態であっても通信状態を保持しています。そのため、オービスを通過するまで（LED が点滅している間）はヘッドセットに接続したその他の Bluetooth 機器への接続復帰は行いません。**

設定項目

GPS 設定

GPS 警報の設定を 3 つのモードから簡単に切替える事ができます。
※各機能を個別に設定することはできません。

設定方法

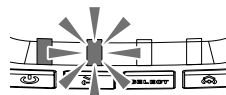
1. 待機中に【セレクトスイッチ】を**長押し**し、GPS 設定モードに入る

2. 【セレクトスイッチ】を押して設定内容を変更する

3. GPS 警報ランプの色とアナウンスで設定を表示します。

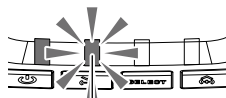
・おまかせ 1：赤点滅『チャラーン おまかせモードです』
・おまかせ 2：橙点滅『チャララン おまかせモードです』
・オールオン：緑点滅『チャラーン オールオンモードです』

4. 【VOL －スイッチ】を押して設定を終了します。

※何もスイッチを押さないで一定時間経過すると、自動的に設定は終了します。（その際、変更した設定は保存されます）

<table>
<tr><th>機能</th><th>おまかせ 1（初期設定）</th><th>おまかせ 2</th><th>オールオン</th></tr>
<tr><td>W オービス</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>距離：500m</td></tr>
<tr><td>取締ポイント／白バイ警戒エリア</td><td>ON</td><td rowspan="4">ON</td><td rowspan="5">ON</td></tr>
<tr><td>駐車監視エリア</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>信号無視取締機ポイント／
過積載取締機ポイント</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>警察署エリア／交番エリア／
高速道路交通警察隊エリア／
事故ポイント／ N システム</td><td rowspan="2">OFF</td></tr>
<tr><td>SA/PA/HO ／道の駅ポイント
急カーブポイント／
トンネルポイント／
県境ポイント／分岐合流ポイント
逆走お知らせポイント／
消防署エリア／スクールエリア</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>ロードセレクト</td><td>AUTO</td><td>AUTO</td><td>ALL</td></tr>
<tr><td>LSC 機能</td><td>ALL-ON</td><td>ALL-ON</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>ASC 機能</td><td>AUTO</td><td>AUTO</td><td>HYPER</td></tr>
</table>

設定項目

GPS 警報表示について

本製品は GPS 機能を利用し、登録された警報ポイントに近づくと、GPS 警報ランプの表示とアナウンスでお知らせします。

<table>
<tr><th colspan="2">警報種類</th><th>GPS 警報ランプ表示</th><th>点滅速度</th></tr>
<tr><td rowspan="5">オービス警報</td><td>約 2km 地点</td><td>緑点滅</td><td rowspan="4">遅い
↓
早い</td></tr>
<tr><td>約 1km 地点</td><td>橙点滅</td></tr>
<tr><td>約 500m 地点</td><td>赤点滅</td></tr>
<tr><td>接近</td><td>赤点滅</td></tr>
<tr><td>トンネル内／
トンネル出口 ※</td><td>橙点滅</td><td>遅い点滅</td></tr>
<tr><td colspan="2">N システム／ SA/PA/HO ／道の駅／
スクールエリア／急カーブポイント
トンネルポイント／消防署エリア／
分岐・合流ポイント／県境ポイント
逆走お知らせポイント</td><td>緑点滅</td><td rowspan="3">遅い
↓
早い</td></tr>
<tr><td colspan="2">W オービス／駐車監視エリア</td><td>橙点滅</td></tr>
<tr><td colspan="2">取締ポイント／白バイ警戒エリア
警察署エリア／交番エリア／
信号無視取締機ポイント／
過積載取締機ポイント／
高速道路交通警察隊エリア／
事故ポイント</td><td>赤点滅</td></tr>
<tr><td colspan="2">取締ポイント回避</td><td>赤点滅</td><td>遅い点滅</td></tr>
</table>

※ トンネルの入口で 1 度のみ警報を行います。

≪オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の音声アナウンス内容≫

オービス種類	音声アナウンス ※（　）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
ループコイル	約（※ 1）先（※ 2）ループコイル があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
LH システム	約（※ 1）先（※ 2）LH システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
H システム	約（※ 1）先（※ 2）H システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
レーダー	約（※ 1）先（※ 2）レーダー があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
ユーザー登録ポイント	約（※ 1）先（※ 2）上 ユーザーポイント があります。時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）

※ 1　2 キロ、1 キロ、500m いずれかをアナウンスします。2 キロは高速道路のみアナウンスします。
※ 2　『高速道 / 一般道』のいずれかをアナウンスします。また 500m の警報の場合、カメラ位置の方向（正面・左側・右側）をアナウンスします。
※ 3　アナウンスを始めた時の速度を約 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
※ 4　2 キロ、1 キロの警報の場合、制限速度または到達時間をアナウンスします。
・制限速度データがあり、走行速度が制限速度を超えている場合、『制限速度は○○キロです』とアナウンスします。
・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『到達時間は○○秒以内です』とアナウンスします。

⚠ 注意

- **※ 3 のアナウンスの速度はアナウンスした時の速度です。**
- **※ 4 の到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。**

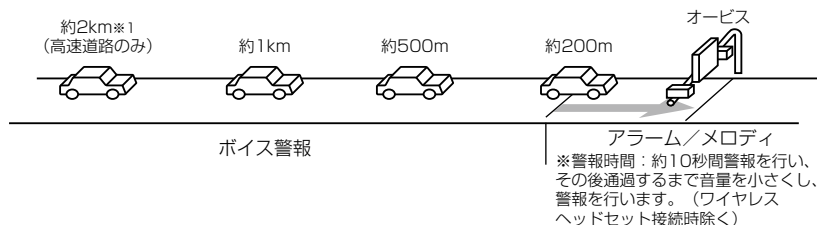
≪トンネル出口警報・トンネル内オービス警報の音声アナウンス内容≫

※ トンネル出口／トンネル内オービス警報はトンネルの入口で１度のみ警報を行います。

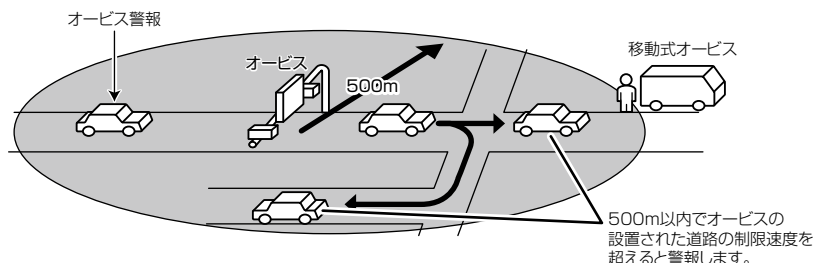
オービス種類	音声アナウンス ※（　）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
トンネル出口 警報	（※ 1）トンネル出口（※ 2）があります。時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
トンネル内 オービス警報	（※ 1）トンネル内（※ 2）があります。時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）

※ 1　『高速道 / 一般道』のいずれかをアナウンスします。
※ 2　取締機の種類をアナウンスします。
※ 3　アナウンスを始めた時の速度を約 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
※ 4　制限速度をアナウンスします。
・制限速度データがある場合、『制限速度は○○キロです』とアナウンスします。
・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『時速は約○○キロです』とアナウンスします。

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。
※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

◇警報を行う距離

※ 1　警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

ダブルオービス警報

・ダブルオービスとは、固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。
・W オービスを設定した場合は、一般道路上のオービスポイントを通過後、500m 以内で、オービスの設置された道路の制限速度以上で走行すると、警報アナウンスとディスプレイ表示で警告します。

アナウンス
効果音、この先ダブルオービスにご注意ください。

※ GPS 設定（⇒ P33）をオールオンに設定した場合のみ警報します。
※ ロードセレクト（⇒ P24）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

⚠ 注意
・設定した距離の範囲内で信号などにより停止（5km/h 以下）した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。 **・オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。** **・オービス通過後、設定範囲内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えればダブルオービスの警報を行います。**

設定

N システム /NH システム警報

N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム／ NH システムへの警報は行いません。
※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

アナウンス
効果音、この先（高速道／一般道）N システムがあります。

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。

⚠ 注意
警報を行う距離は、対象とする N システム／ NH システムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

取締ポイント警報

速度取締りを中心に頻繁に行われているポイントや、過去に検問や取締りの事例があるポイントが予め本機に登録してあり、取締ポイントに接近すると約 200m ～ 1km の間で注意をお知らせし、ポイントにより離れた時に回避をお知らせします。

- [重点取締り] .... 上記取締ポイントが 2 つ重なっている場合に警報
- [最重点取締り] .... 上記取締ポイントが 3 つ以上重なっている場合に警報

取締種類	アナウンス
取締ポイント	効果音、この先　一般道取締ポイントがあります。 取締りにご注意ください。
重点取締 ポイント	効果音、この先　一般道重点取締ポイントがあります。 重点取締りにご注意ください。
最重点取締 ポイント	効果音、この先　一般道最重点取締ポイントがあります。 最重点取締りにご注意ください。
回避	効果音、取締ポイントを回避しました。 または 効果音、重点取締ポイントを回避しました。 または 効果音、最重点取締ポイントを回避しました。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

信号無視取締機ポイント警報

・信号無視監視機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
・本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス
効果音、この先　一般道　信号無視取締機にご注意ください。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

過積載取締機ポイント警報

・過積載取締機が設置されている路線で、車両の最大積載量を超過して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
・本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス
効果音、この先（高速道 一般道）過積載取締機にご注意ください。

白バイ警戒エリア警報

本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
効果音、この付近　白バイ警戒エリアです。
効果音、この付近　白バイ重点警戒エリアです。 取締りにご注意ください。

アドバイス

白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行ったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。

警察署エリア警報

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
効果音、この付近　警察署エリアです。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

交番エリア警報

本機に登録されている政令指定都市の交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス
効果音、この付近　交番エリアです。 取締りにご注意ください。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

高速道路交通警察隊エリア警報

本機に登録されている政令指定都市の高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
効果音、この付近　高速道路交通警察隊エリアです。 取締りにご注意ください。

事故ポイント警報

全国の事故多発ポイントを予め本機に登録してあり、事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
効果音、この先（高速道／一般道）事故多発ポイントがあります。

設定項目

SA/PA/HO 警報

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスの位置情報を予め本機に登録してあり、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると、2km 手前でお知らせします。

状況	アナウンス
パーキングエリア	効果音、この先　高速道　パーキングエリアがあります。
サービスエリア	効果音、この先　高速道　サービスエリアがあります。
ハイウェイオアシス	効果音、この先　高速道　ハイウェイオアシスがあります。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

道の駅ポイント警報

本機に登録されている道の駅付近に接近（約 1 km）すると、お知らせします。

アナウンス
効果音、この先、一般道　道の駅があります。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

急カーブポイント警報

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）すると、お知らせします。

アナウンス
効果音、この先、高速道（※１）急カーブがあります。

※　ロードセレクト（⇒ P24）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※１ カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意
弊社調査による高速道路上の急カーブと思われる位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 **・全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。** **・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

トンネルポイント警報

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

アナウンス
効果音、この先、高速道（※ 1）トンネルがあります。

※　ロードセレクト（⇒ P24）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※１ トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意
弊社調査による高速道路上のトンネル位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 **・全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。** **・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

設定項目

県境ポイント警報

県境付近に接近（約 1 km）すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス
効果音、この先、（※ 1）。

※　ロードセレクト（⇒ P24）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 1 都道府県をアナウンスします。

⚠ 注意
弊社調査による高速道路上の県境位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 ・山間部やトンネル内又は出口付近等の GPS の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。 ・全ての県境ポイントで警報するわけではありません。 ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

分岐合流ポイント警報

本機に登録されている分岐合流付近に接近（約 500m）すると、お知らせします。

アナウンス
効果音、この先、高速道　分岐（または合流）があります。

※ 分岐と合流のアナウンスは、それぞれ異なります。
※ ロードセレクト（⇒ P24）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

⚠ 注意
弊社調査による高速道路上の分岐合流ポイントを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 ・全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。 ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。 ・ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。

駐車監視エリア警報

各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

アナウンス
効果音、駐車監視エリアです。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がシティー、オールモードの時のみ有効です。

⚠ 注意
弊社調査による監視エリアを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 **・全ての監視エリアで警報するわけではありません。** **・実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。**

スクールエリア警報

本機に登録されている小学校付近を 7:00 ～ 9:00、12:00 ～ 18:00 に接近（約 200m）するとお知らせします。

※ 土曜日、日曜日は警報は行いません。

アナウンス
効果音、この付近　スクールエリアです。 安全運転を心がけましょう。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

設定項目

逆走お知らせ警報

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や入口から本線に合流しようとすると、お知らせします。

≪出入口が別方向の場合≫

サービスエリア等で停車し、速度が 20km/h 以上でサービスエリア等の入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。逆走お知らせポイントから離れるまで警報画面の表示を続けます。

≪出入口が同じ方向の場合≫

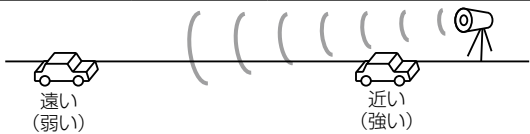
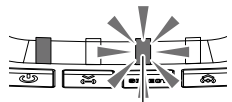
サービスエリア等の出入口が同じ方向の場合、サービスエリア等で停車した時に警報を行います。その後発進し、速度が 20km/h 以上になった場合、再度警報を行います。

アナウンス
効果音、この付近　逆走お知らせエリアです。 出口の方向にご注意ください。

⚠ 注意
逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。

※ ロードセレクト（⇒ P24）の設定および LSC の設定（⇒ P30）に関わらず、警報を行います。

消防署エリア警報

本機に登録されている消防署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
効果音、この付近　消防署エリアです。 緊急車両にご注意ください。

※ ロードセレクト（⇒ P24）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

レーダー警報表示について

レーダー式取締り機（⇒ P58）に接近した場合、下記のように警報を行います。

項目			内容	
レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ）			遠い（弱い）	近い（強い）
レーダー警報ランプ表示			レーダー警報ランプ赤点滅	
点滅速度			遅い → 早い	
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。	
		HI	アラーム音が鳴らない	アラーム音が鳴る
		S-HI	アラーム音が鳴らない	アラーム音が鳴る
		HYPER	アラーム音が鳴る	
ステルス波受信 （⇒ P58）	レーダー警報ランプ表示		早い赤点滅	
	アラーム音		ピコッピコッピコッ・・・アラーム音が鳴ります。	※メロディ設定の場合はテンポは変わらず警報を行います。

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。

設定項目

無線設定

無線警報の設定を 4 つのモードから簡単に切替える事ができます。
※各機能を個別に設定することはできません。

設定方法

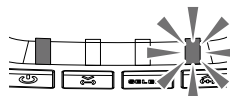
1. 待機中に【VOL +スイッチ】を**長押し**し、無線設定モードに入る

2. 【VOL +スイッチ】を押して設定内容を変更する

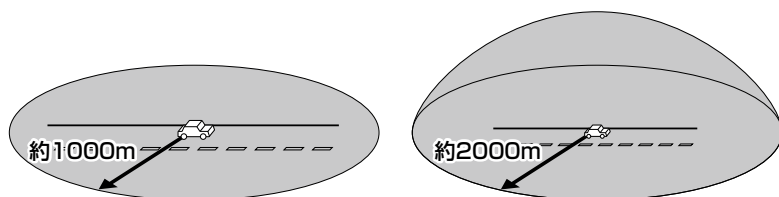
3. 無線警報ランプの色とアナウンスで設定を表示します。

・オールオフ：消灯『チャラーン』
・おまかせ 1：赤点滅『チャラーン おまかせモードです』
・おまかせ 2：橙点滅『チャララン おまかせモードです』
・オールオン：緑点滅『チャラーン オールオンモードです』

4. 【VOL −スイッチ】を押して設定を終了します。

※何もスイッチを押さないで一定時間経過すると、自動的に設定は終了します。（その際、変更した設定は保存されます）

<table>
<tr><th>機能</th><th>オールオフ
（初期設定）</th><th>おまかせ 1</th><th>おまかせ 2</th><th>オールオン</th></tr>
<tr><td>カーロケ</td><td rowspan="15">OFF</td><td rowspan="4">ON</td><td rowspan="6">ON</td><td rowspan="15">ON</td></tr>
<tr><td>350.1MHz</td></tr>
<tr><td>デジタル</td></tr>
<tr><td>取締特小</td></tr>
<tr><td>署活系</td><td rowspan="10">OFF</td></tr>
<tr><td>ワイド</td></tr>
<tr><td>警察 / 消防ヘリテレ</td><td rowspan="8">OFF</td></tr>
<tr><td>レッカー</td></tr>
<tr><td>新救急</td></tr>
<tr><td>消防</td></tr>
<tr><td>高速管理車両</td></tr>
<tr><td>警察活動</td></tr>
<tr><td>警備</td></tr>
<tr><td>タクシー</td></tr>
<tr><td>パトロールエリア設定</td><td>ON</td><td>ON</td></tr>
</table>

受信範囲

下図の受信感度 (距離) は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。

カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、警察活動、警備、タクシーの各無線

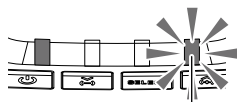
警察/消防ヘリテレ無線

⚠ 注意

- **放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。**
- **使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。**

設定項目

無線警報表示について

無線警報ランプの表示とアナウンスでお知らせします。

無線警報ランプ

<table>
<tr><th>警報種類</th><th>無線警報ランプ表示</th><th>受信レベル</th><th>点滅速度</th></tr>
<tr><td rowspan="2">カーロケ／ 350.1 ／デジタル／署活系／ワイド／取締特小／警察活動／警察ヘリテレ</td><td rowspan="2">赤点滅</td><td>弱い
（遠い）※ 1</td><td>遅い</td></tr>
<tr><td>強い
（近い・接近）
※ 1</td><td>早い</td></tr>
<tr><td>パトロールエリア</td><td>橙点滅</td><td>—</td><td>早い</td></tr>
<tr><td rowspan="2">新救急／消防ヘリテレ／消防／レッカー／高速管理車両／警備／タクシー</td><td rowspan="2">緑点滅</td><td>弱い</td><td>遅い</td></tr>
<tr><td>強い</td><td>早い</td></tr>
<tr><td>カーロケ回避</td><td>赤点滅</td><td>—</td><td>遅い</td></tr>
</table>

※ 1 カーロケ、デジタル、ワイド無線のみ遠近識別警報を行います。

カーロケ無線警報

カー･ロケーター･システムとは、「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備された GPS 受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的(間欠)に各本部に送信するカー･ロケーター･システムを装備しています。

本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。
※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

◇カーロケ無線受信状況 アナウンス
◇遠いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。
◇近いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
◇接近するカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。
◇カーロケ無線を受信し、その後カーロケ無線を回避した場合 効果音～カーロケ無線を回避しました。

350.1MHz 警報（取締り用連絡無線）

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。

アナウンス
効果音～通話音声（デジタル信号はノイズ）～ 350.1 無線を受信しました。

デジタル無線警報

・各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz 帯 ～ 160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。
・デジタル無線受信電波の状況によって、遠近識別警報を行います。

状況	アナウンス
遠い	効果音～デジタル無線を受信しました。
近い	効果音～デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音～デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

署活系無線警報

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス
効果音～署活系無線を受信しました。

設定項目

ワイド無線警報

Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336 ～ 338MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス
遠い	効果音～ワイド無線を受信しました。
近い	効果音～ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音～ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

取締特小無線警報

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス
効果音～通話音声～ 取締特小無線を受信しました。

警察活動無線警報

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス
効果音～警察活動無線を受信しました。

パトロールエリア警報（パトロールエリア info）

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

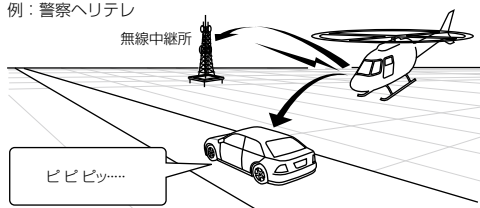
アナウンス
効果音～パトロールエリアです。ご注意ください。

アドバイス

・受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内 2 つ以上の設定が ON になっていないと、パトロールエリア警報は行いません。
・必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線警報

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件･事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ

※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。（警察ヘリテレのみ）

受信種類	アナウンス
警察ヘリテレ	効果音～通話音声～ 警察ヘリテレ無線を受信しました。
消防ヘリテレ	効果音～通話音声～ 消防ヘリテレ無線を受信しました。

設定項目

新救急無線警報

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス
効果音～通話音声～ 新救急無線を受信しました。

消防無線警報

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス
効果音～通話音声～ 消防無線を受信しました。

レッカー無線警報

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

アナウンス
効果音～通話音声～ レッカー無線を受信しました。

高速管理車両無線警報

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス
効果音～通話音声～ 高速管理車両無線を受信しました。

警備無線警報

・各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス
効果音～通話音声～ 警備無線を受信しました。

タクシー無線警報

・各地のタクシー会社が使用する無線です。

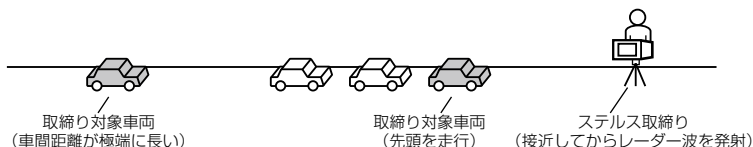
アナウンス
効果音～通話音声～ タクシー無線を受信しました。

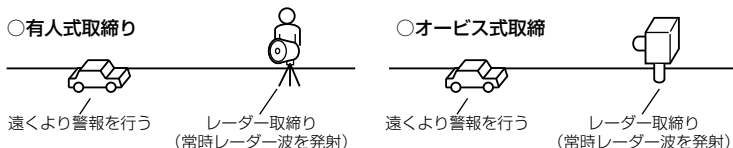
付録

取締まりの種類と方法

レーダー式の取締り

● **ステルス式取締り方法（有人式取締り）**

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m 以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。

● **レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）**

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も 500m 以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。

● **新 H システム式取締り方法（オービス式取締り）**

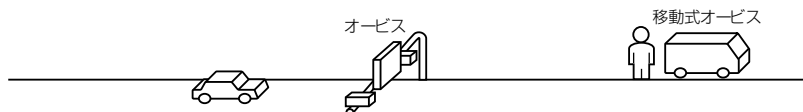
レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も 500m 前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。

● **移動オービス式／パトカー車載式取締り方法**

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m 以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● **ダブルオービス式取締り方法**

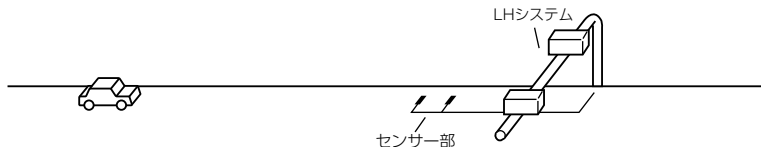
固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。

レーダー式以外の取締り

● **ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）**

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。

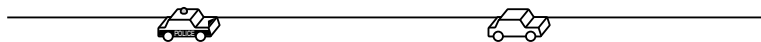
● **LH システム式取締り方法（オービス式取締り）**

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影が H システム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。

その他

● **光電管式取締り方法（有人式取締り）**

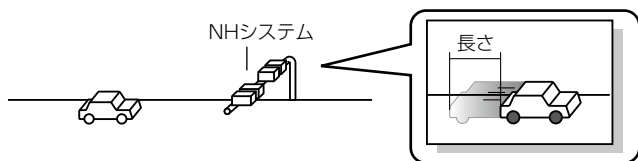
2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

● **追尾式取締り方法**

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）及び追尾式取締り方法はレーダー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒ P39）であれば GPS 警報を行います。）

● **NH システム式取締まり方法**

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。

初期状態に戻す（データリセット）

登録したすべてのデータをリセット (初期化) し、お買い上げ時の状態に戻します。
※ 更新した GPS データは初期化されません。

⚠ 警告
・消去したデータの復元はできません。 **・お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。** **・ディスプレイモード中はデータリセットできません。**

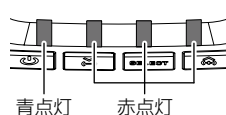
リセット方法

電源を入れた後、すべての LED が点滅している間（設定表示中）に、レーダー本体の【VOL −スイッチ】と【VOL +スイッチ】を**長押し**してください。

①電源を入れた後、LED が点滅してる間（設定表示中）に

②【VOL −スイッチ】と【VOL ＋スイッチ】を長押しする

③「オールリセットしました」のアナウンスと LED が全点灯すればリセット完了です

その他

ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。
※ USB シガープラグコードまたは USB ケーブルを接続した状態でのみ作動します。

①電源を入れた後、LED が点滅してる間（設定表示中）に

②【セレクトスイッチ】を<u>長押し</u>する

③ LED が点灯し、ディスプレイモードが始まります

- ディスプレイモード中に再度【セレクトスイッチ】を**長押し**すると、ディスプレイモードは終了します。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	● USB シガープラグコードが抜けかかっていませんか？ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？ ●データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行ってください。	13 ページ 4 ページ 25 ～ 29 ページ
内蔵バッテリー動作時、電源が入らない	●十分な充電がしてありますか？	10,11 ページ
操作できない	●誤操作防止機能が作動していませんか？	31 ページ
GPS 衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラス等ではありませんか？ ●レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	4 ページ 12 ～ 14 ページ 12 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ ● LSC 機能が作動していませんか？	18 ページ 24 ページ 30 ページ
GPS 警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ● GPS 設定で OFF になっている警報ではありませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	12 ページ 36 ページ 35,38 ページ 33 ページ 25 ページ 22 ページ 24 ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？	59,60 ページ 21 ページ 30 ページ
無線警報しない場合	●無線設定で OFF になっている警報ではありませんか？	48 ページ
LSC 機能が働かない	● GPS 設定がオールオンになっていませんか？	33 ページ
ASC 機能が働かない	● GPS 設定がオールオンになっていませんか？	33 ページ
ユーザーポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●ユーザーポイントを 100 件以上登録していませんか？	12 ページ 19 ページ
レーダーキャンセルポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●レーダーキャンセルポイントを 50 件以上登録していませんか？	12 ページ 21 ページ

付録

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC5V（USB 電源）
最小消費電流	25mA 以下
最大消費電流	180mA
受信方式	パラレル 18ch ダブルスーパーヘテロダイン
測位更新時間	最短 1 秒
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10℃～ 60℃
本体サイズ	65（W）× 25.8（H）× 105（D）／ mm
重量	120g（バッテリー含む）

受信周波数
・GPS（1575.42MHz）
・X バンド（10.525GHz）
・K バンド（24.200GHz）
・取締り用連絡無線（350.1MHz 帯）
・カー･ロケーター･システム（407MHz 帯）
・デジタル無線（159MHz 帯～ 160MHz 帯）
・署活系無線（347MHz 帯、361MHz 帯）
・ワイド無線（336MHz 帯～ 338MHz 帯）
・警察ヘリテレ無線（340MHz 帯～ 372MHz 帯）
・消防ヘリテレ無線（382MHz 帯～ 383MHz 帯）
・取締特小無線（422MHz 帯）
・レッカー無線（154MHz 帯、465MHz 帯～ 468MHz 帯）
・新救急無線（371MHz 帯）
・消防無線（150MHz 帯、466MHz 帯）
・高速管理車両無線（383MHz 帯）
・警察活動無線（162MHz 帯）
・警備無線（468MHz 帯）
・タクシー無線（458MHz 帯～ 459MHz 帯、467MHz 帯）

ブルートゥース送信部

プロファイル	HFP
バージョン	2.1+EDR
送信出力	クラスⅡ
認証コード	0000
機器名称	MOTO GPS RADAR

さくいん

お問い合わせ

製品のお取り扱い方法、修理等に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または、お客様相談窓口にご相談ください。

お客様相談窓口 0120-60-4955

デイトナ商品についてのご質問、ご意見をフリーダイヤルで受け付けております。

株式会社

〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
ホームページ　http://www.daytona.co.jp

D203021